

令和2年度用「小学算数」2年 年間指導計画作成資料（案）

令和2年6月版

取り扱いに当たっての留意事項

- 「学校の授業以外の場において行うことが考えられる教材・学習活動」では、学習内容や時数について考えられる案を示しています。学校や地域の実態に応じてご参照ください。
- 表中の「学校の授業以外の場において行うことが考えられる教材・学習活動」とは、「学校の授業以外の場で学習したことを基に、授業で各活動が展開されること」を前提としています。学校以外の場のみで学習が完結するということではありませんので、授業における配慮をお願いします。
- ウェブを活用した場面があります。音声や動画を視聴できる環境にない家庭の児童への配慮をお願いします。
- 单元ごとの配當時数、主な学習活動などは、今後変更になる可能性があります。予めご了承ください。
- 各単元の評価規準については、小社ウェブサイトの「年間指導計画・評価計画（案）」をご参照ください。

教育出版

【本資料の見方】

◆**配当時間数**

黒字は、**平時の授業時間数**を示しています。

赤字は、**学校での授業と、学校の授業以外の場において取り組む学習活動**(〔以外〕)を併用して指導する場合を示しています。

5 長さ		5月下旬～6月上旬 (8時間⇒7時間+〔以外〕)			
◆単元の目標と評価規準		p.52～64			
○長さの単位「cm, mm」について知り、測定の意味を理解し、単位を適切に選択して長さを測定する力を身につける。また、長さを比べたり測定したりすることに進んで関わり、生活や学習に活用しようとする態度を養う。【学習指導要領との関連 C(1)ア(ア)(イ), C(1)イ(ア)】					
・長さの単位「cm, mm」について知り、測定の意味と単位の関係を理解し、長さについておよその見当をつけ単位を適切に選択して測定することができる。<知・技>					
・身のまわりのものの特徴に着目し、目的に応じた単位で長さを的確に表現したり、比べたりしている。<思・判・表>					
・長さを比べたり測定したりすることに進んで関わり、数学的に表現・処理したことを振り返り、数理的な処理のよさに気づき、生活や学習に活用しようとしている。<態度>					
◆指導計画と指導上の留意事項					
時	頁	小単元・小見出し	目標	学習活動	〔以外〕の学習活動例や指導上の留意事項
6	5 2 5 6 1	長さのあらわし方	①②長さの意味、長さの単位「cm」、長さの測定(普通単位)を理解する。	・「同じ長さになるかな?」の活動をきっかけに、長さを表したり伝えたりすることに興味をもつ。 ・しおりの長さをいろいろな具体物を使って表す活動とおして、任意単位を用いた長さの表し方を考える。 ・長さの単位「センチメートル(cm)」を知る。 ・目盛りテープを用いて長さを測る。 ・ものの大きさの表し方を考えるとき、もとの大きさを決めて、そのいくつ分という見方をしたことを振り返る。	
		(1cmよりみじかい長さ)	③④長さの単位「mm」と単位の関係、ものさしの機能と使い方理解する。 ★	・はがきの縦の長さを測る活動とおして、長さの単位「ミリメートル(mm)」を知り、1cm=10mmを知る。 ・ものさしのしくみを知る。	
		(長さの計算)	⑤直線の意味とかき方を理解する。★	・直線の意味を知り、ものさしを使って直線をかく。	・予習で、p.60の「直線のかき方」、及びp143「ものさしのつかい方」を見て、直線の作図に取り組む。可能であれば、「まなびリンク」のデジタルコンテンツを利用して取り組む。 ・授業では、予習をもとに直線の作図のしかたを確認し、p.61の「長さの計算」までの第5・6時までを1時間で指導することが考えられる。 ・授業後に、〔以外〕の学習活動としてp.60の□7、□8に取り組む。また、直線の作図については、〔以外〕の学習活動として継続的に取り組む。
			⑥長さについて加法性が成り立つことを理解する。	・折れ曲がった線の長さを調べることをとおして、長さは加減計算ができることを知る。	
1	6 2	学んだことをつかおう	⑦身のまわりのものの長さについて、およその見当をつけ、測定することができる。	・「長さの図かんを作ろう」という目的意識から、身のまわりのものの長さをものさしを使って測定し、まとめる。	
1 (0)	6 3 5 6 4	まとめ	⑧学習内容の理解を確認し、確実に身につける。	・単元のまとめをする。	・〔以外〕の学習活動として取り組む。 ・わからない問題があれば個別に支援する。
		[ものさし計算き]		・ものさしの目盛りの付き方に着目し、2つの「ものさし計算き」を組み合わせて12+4や12-4の答えが求められるしくみについて考える。	・〔以外〕の学習活動としてp.64～65の「ものさし計算き」に取り組む。
★まなびリンク 動画「長さのはかり方(右きき)(左きき)」					
★まなびリンク 動画「直線のかき方(右きき)(左きき)」					

◆〔以外〕の学習活動例や指導上の留意事項
〔以外〕における予習・復習の例や、それを踏まえて授業時間数を更に削減する場合の例を示しています。学校や地域の実態に応じて、適宜ご参照ください。

◆**赤い網掛け部分**

〔以外〕で取り組むこととする学習活動は、赤い網掛けで示しています。

*は「発展的な学習内容」を含む箇所

★は教育出版のWebサイトに「まなびリンク(デジタルコンテンツ)」がある箇所

<上巻>

● 算数をはじめよう！／ココアはいくつ

4月上旬（2時間）
p.2～9

時	頁	小単元・小見出し	目標	学習活動	[以外]の学習活動例や指導上の留意事項
2	2 5 9	算数をはじめよう！／算数でつかいたい考え方 ココアはいくつ	①②算数の学習の進め方を理解し、問題解決に生かすことができる。	・「算数をはじめよう！」及び「算数でつかいたい考え方」を見て、算数の学習の進め方について話し合う。 ・「ココアはいくつ」の問題に取り組む、同じ文字が同じ数になるようにして、 $コ+コ+ア=15$ になる式をつくる。	・予習で、教科書を読み、「学びをふかめる大切な言葉」、「学習のすすめ方」、及び「算数でつかいたい考え方」を確認する。 ・予習で、p.7の「もんだいをつかむ」、及び「自分の考えをもつ」段階まで取り組む。 ・授業では、「みんなで話し合う」、及び「ふりかえる」段階に重点をおく。 ・「広げて考える」段階は[以外]の学習活動として取り組み、第1・2時を1時間で指導することが考えられる。

1 表とグラフ

4月上旬～中旬（3時間⇒2時間+[以外]）
p.10～14

◆単元の目標と評価規準

○簡単な表やグラフについて理解し、データを整理する観点に着目し、身のまわりの事象について表やグラフを用いて考察する力を身につける。また、データを整理することに関わり、その過程を振り返り、表やグラフの表現のよさに気づき生活や学習に活用しようとする態度を養う。【学習指導要領との関連 D(1)ア(ア), D(1)イ(ア)】

- ・身のまわりにある数量を分類整理し、簡単な表やグラフを用いて表したりよみ取ったりすることができる。<知・技>
- ・データを整理する観点に着目し、身のまわりの事象について表やグラフを用いて考察している。<思・判・表>
- ・データを整理することに関わり、数学的に表現・処理したことを振り返り、数理的な処理のよさに気づき生活や学習に活用しようとしている。<態度>

◆指導計画と指導上の留意事項

時	頁	小単元・小見出し	目標	学習活動	[以外]の学習活動例や指導上の留意事項
1	1 0 2 5		①身のまわりの数量を分類整理して、簡単な表やグラフに表すことができる。	・「そだてたい野菜はいくつ？」の活動をきっかけに、育てたい野菜調べの結果をわかりやすく分類整理し、簡単な表やグラフに表す。	
1	1 3	学んだことをつかおう	②表やグラフを活用する場面について考えたり、よみ取ったりすることができる。	・「学級しようかいをしよう！」という目的意識から、表やグラフを活用した学級紹介について話し合う。 ・学級紹介のポスターを見て、どんなことがよみ取れるかを話し合う。	
1 (0)	1 4	まとめ	③学習内容の理解を確認し、確実に身につける。	・単元のまとめをする。	・[以外]の学習活動として取り組む。 ・わからない問題があれば個別に支援する。

2 時こくと時間

4月中旬（4時間⇒3時間+[以外]）
p.15～21

◆単元の目標と評価規準

○時刻と時間の意味、時間の単位「日、時、分」について知り、日常生活の中で用いる力を身につける。また、時刻と時間を表すことに進んで関わろうとする態度を養う。【学習指導要領との関連 C(2)ア(ア), C(2)イ(ア)】

- ・時間の単位「日、時、分」について知り、それらの関係を理解している。<知・技>
- ・時間の単位に着目し、時刻や時間を日常生活に生かしている。<思・判・表>
- ・時刻と時間を表すことに進んで関わり、数学的に表現・処理したことを振り返り、数理的な処理のよさに気づき生活や学習に活用しようとしている。<態度>

◆指導計画と指導上の留意事項

時	頁	小単元・小見出し	目標	学習活動	[以外]の学習活動例や指導上の留意事項
2	1 5 9		①時刻と時間の意味や、時間の単位「時、分」の関係を理解する。 ★	・「何時に何をやるのかな？」の活動をきっかけに、時計のよみ方を振り返り、遠足の日の時刻や時間を調べる。 ・9時、9時20分などの時刻をよんだり、時間を求めたりする。 ・時間の単位「時、分」を知り、1時間=60分間を知る。	

			②午前と午後、正午の意味や、時間の単位「日、時」の関係を理解する。	<ul style="list-style-type: none"> •1日の生活を調べることをとおして、「午前、午後、正午」を知り、1日=24時間を知る。 •模型時計を使って、簡単な場合について時刻や時間を求める問題を出し合う。 	
1	20	学んだことをつかおう	③日常生活の場面と関連づけて、時刻や時間を表すことができる。	<ul style="list-style-type: none"> •「時間のつかい方を考えよう!」という目的意識から、家に帰ったあとの時間の使い方について考え、時刻や時間のお話をする。 	
1 (0)	21	まとめ	④学習内容の理解を確認し、確実に身につける。	<ul style="list-style-type: none"> •単元のまとめをする。 	<ul style="list-style-type: none"> •[以外]の学習活動として取り組む。 •わからない問題があれば個別に支援する。

★まなびリンク シミュレーション「時計ツール」

★まなびリンク 資料「時と時計について学ぶページ(日本時計協会)」

3 たし算

4月下旬～5月上旬 (9時間⇒8時間+[以外])

p.22～37

◆単元の目標と評価規準

○2位数の加法について理解し、計算することができるとともに、図や式などを用いて計算のしかたを考える力を身につける。また、加法の計算のしかたを考えることに進んで関わり、その過程を振り返り、生活や学習に活用しようとする態度を養う。【学習指導要領との関連 A(2)ア(ア)(ウ), A(2)イ(ア)】

- 2位数+2位数の計算が、1位数などについての基本的な計算をもとにしてできることや、その筆算のしかたについて理解し、加法の計算が確実にできる。また、加法に関して成り立つ性質について理解している。<知・技>
- 数量の関係に着目し、計算のしかたを考えたり計算に関して成り立つ性質を見いだしたりしているとともに、その性質を活用して、計算を工夫したり計算の確かめをしたりしている。<思・判・表>
- 加法の計算に進んで関わり、数学的に表現・処理したことを振り返り、数理的な処理のよさに気づき生活や学習に活用しようとしている。<態度>

◆指導計画と指導上の留意事項

時	頁	小単元・小見出し	目標	学習活動	[以外]の学習活動例や指導上の留意事項	
7	22 23 24	(2けた+2けたの計算)	①②2位数+2位数で繰り上がりのない加法の計算のしかたを理解する。★	<ul style="list-style-type: none"> •「おかしを2つえらぼう!」の活動をきっかけに、場面絵を見て加法の問題を作り、既習の計算を振り返るとともに、未習の問題に取り組むことに関心をもつ。 •24+15のような、2位数+2位数で繰り上がりのない加法の計算のしかたを考える。(p.34～35の[友だちのノート]を見てみよう)も扱う。) 		
		[算数のミカタ]		<ul style="list-style-type: none"> •新しい計算のしかたを考えるとき、数を分けて、10がいくつと1がいくつという見方をしたことを振り返る。 		
			③2位数+2位数で繰り上がりのない加法の筆算のしかたを理解する。	<ul style="list-style-type: none"> •24+15のような、2位数+2位数で繰り上がりのない加法の筆算のしかたを考える。 		
			④⑤2位数+2位数で繰り上がりのある加法の計算のしかたを理解し、筆算ができる。	<ul style="list-style-type: none"> •28+17のような、2位数+2位数で繰り上がりのある加法の計算のしかたを考え、筆算のしかたをまとめる。 		
			⑥2位数+2位数=何十の計算や、1位数と2位数の繰り上がりのある加法の計算ができる。	<ul style="list-style-type: none"> •49+31のような、答えが何十になる加法の計算のしかたを考える。 •4+27のような、被加数や加数が1位数の加法の計算のしかたを考える。 		
			(たし算のきまり)	⑦加法の交換法則を理解する。	<ul style="list-style-type: none"> •8+6と6+8の答えを比べることをとおして、加法の交換法則を知る。 	

1	3 5 3 3 5	学んだことをつかおう	⑧日常生活の場面と関連づけて、加法の計算を活用することができる。 [友だちのノートを見よう]	・「100円でえらぼう!」という目的意識から、いろいろなお菓子の選び方を考え説明し、その代金を求める。 ・教科書のノート例や友だちのノートを見て、ノートの書き方の工夫について話し合う。	
		まとめ	⑨学習内容の理解を確認し、確実に身につける。	・単元のまとめをする。	・[以外]の学習活動として取り組む。 ・わからない問題があれば個別に支援する。

★まなびリンク シミュレーション「たし算カード(フラッシュカード 第1学年・繰り上がりのあるたし算の計算練習)」

4 ひき算

5月中旬～下旬 (9時間⇒8時間+[以外])
p.38～50

◆単元の目標と評価規準

○2位数の減法について理解し、計算することができるとともに、図や式などを用いて計算のしかたを考える力を身につける。また、減法の計算のしかたを考えることに進んで関わり、その過程を振り返り、生活や学習に活用しようとする態度を養う。【学習指導要領との関連 A(2)ア(ア)(ウ)(エ), A(2)イ(ア)】

- ・2位数-2位数の減法の計算が、1位数などについての基本的な計算をもとにしてできることや、その筆算のしかたについて理解し、減法の計算が確実にできる。また、減法に関して成り立つ性質や、加法と減法との相互関係について理解している。<知・技>
- ・数量の関係に着目し、計算のしかたを考えたり計算に関して成り立つ性質を見いだしたりしているとともに、その性質を活用して、計算を工夫したり計算の確かめをしたりしている。<思・判・表>
- ・減法の計算に進んで関わり、数学的に表現・処理したことを振り返り、数理的な処理のよさに気づき生活や学習に活用しようとしている。<態度>

◆指導計画と指導上の留意事項

時	頁	小単元・小見出し	目標	学習活動	[以外]の学習活動例や指導上の留意事項
7	3 8 5 4 7	(2けた-2けたの計算) (計算のたしかめ)	①②2位数-2位数で繰り下がりのない減法の計算のしかたを理解する。★	・「のこりは何円かな?」の活動をきっかけに、場面絵を見て減法の問題を作り、既習の計算を振り返るとともに、未習の問題に取り組むことに興味をもつ。 ・35-12のような、2位数-2位数で繰り下がりのない減法の計算のしかたを考える。	
			③2位数-2位数で繰り下がりのない減法の筆算のしかたを理解する。	・35-12のような、2位数-2位数で繰り下がりのない減法の筆算のしかたを考える。	
			④⑤2位数-2位数で繰り下がりのある減法の計算のしかたを理解し、筆算ができる。	・34-18のような、2位数-2位数で繰り下がりのある減法の計算のしかたを考え、筆算のしかたをまとめる。	
			⑥何十-何十何の計算や、2位数-2位数=1位数の計算ができる。また、2位数-1位数で繰り下がりのある減法の計算ができる。	・60-32のような、何十からひく減法の計算や、52-49のような、答えが1位数になる減法の計算のしかたを考える。 ・71-3のような、減数が1位数の減法の計算のしかたを考える。	
1	4 8	学んだことをつかおう	⑧日常生活の場面の問題解決に減法の計算を活用し、判断の理由を言葉や式などを用いて説明することができる。	・「どちらがやすいかな?」という目的意識から、値引きのある店とない店で、どの品物を買うときにどちらの店が安くなるかを言葉や式などを用いて説明する。	
1 (0)	5 0 5	まとめ	⑨学習内容の理解を確認し、確実に身につける。	・単元のまとめをする。	・[以外]の学習活動として取り組む。 ・わからない問題があれば個別に支援する。

★まなびリンク シミュレーション「ひき算カード(フラッシュカード 第1学年・繰り下がりのあるひき算の計算練習)」

■ 何人いるかな

5月下旬 (1時間)

p.50

時	頁	小単元・小見出し	目標	学習活動	[以外]の学習活動例や指導上の留意事項
1	5 1		①重なりがある場合などの順序数の加法を理解する。	<ul style="list-style-type: none"> ある子どもの位置が前から8番め、後ろから4番めのとき全部で何人いるかを考え、加法の式に表す。 ある子どもの前に6人、後ろに5人いるとき全部で何人いるかを考え、加法の式に表す。 	

5月下旬～6月上旬 (8時間⇒7時間+[以外])

p.52～64

5 長さ

◆単元の目標と評価規準

○長さの単位「cm, mm」について知り、測定の意味を理解し、単位を適切に選択して長さを測定する力を身につける。また、長さを比べたり測定したりすることに進んで関わり、生活や学習に活用しようとする態度を養う。【学習指導要領との関連 C(1)ア(ア)(イ), C(1)イ(ア)】

・長さの単位「cm, mm」について知り、測定の意味と単位の間接を理解し、長さについておよその見当をつけ単位を適切に選択して測定することができる。<知・技>

・身のまわりのものの特徴に着目し、目的に応じた単位で長さを的確に表現したり、比べたりしている。<思・判・表>

・長さを比べたり測定したりすることに進んで関わり、数学的に表現・処理したことを振り返り、数理的な処理のよさに気づき、生活や学習に活用しようとしている。<態度>

◆指導計画と指導上の留意事項

時	頁	小単元・小見出し	目標	学習活動	[以外]の学習活動例や指導上の留意事項
6	5 2 6 1	長さのあらわし方 (1cmよりみじかい長さ)	①②長さの意味、長さの単位「cm」、長さの測定(普遍単位)を理解する。	<ul style="list-style-type: none"> 「同じ長さになるかな?」の活動をきっかけに、長さを表したり伝えたりすることに関心をもつ。 しおりの長さをいろいろな具体物を使って表す活動をとおして、任意単位を用いた長さの表し方を考える。 長さの単位「センチメートル(cm)」を知る。 目盛りテープを用いて長さを測る。 	
			[算数のミカタ]	<ul style="list-style-type: none"> ものの大きさの表し方を考えるとき、もとにする大きさを決めて、そのいくつ分という見方をしたことを振り返る。 	
		(長さの計算)	③④長さの単位「mm」と単位の関係、ものさしの機能と使い方を理解する。★	<ul style="list-style-type: none"> はがきの縦の長さを測る活動をとおして、長さの単位「ミリメートル(mm)」を知り、1cm=10mmを知る。 ものさしのしくみを知る。 	
			⑤直線の意味とかき方を理解する。★	<ul style="list-style-type: none"> 直線の意味を知り、ものさしを使って直線をかく。 	<ul style="list-style-type: none"> 予習で、p.60の「直線のかき方」、及びp143「ものさしのつかい方」を見て、直線の作図に取り組む。可能であれば、「まなびリンク」のデジタルコンテンツを利用して取り組む。 授業では、予習をもとに直線の作図のしかたを確認し、p.61の「長さの計算」までの第5・6時までを1時間で指導することが考えられる。 授業後に、[以外]の学習活動としてp.60の□7、□8に取り組む。また、直線の作図については、[以外]の学習活動として継続的に取り組む。
1	6 2	学んだことをつかおう	⑦身のまわりのものの長さについて、およその見当をつけ、測定することができる。	<ul style="list-style-type: none"> 「長さの図かんを作ろう」という目的意識から、身のまわりのものの長さをものさしを使って測定し、まとめる。 	
1 (0)	6 3 6 4	まとめ	⑧学習内容の理解を確認し、確実に身につける。	<ul style="list-style-type: none"> 単元のまとめをする。 	<ul style="list-style-type: none"> [以外]の学習活動として取り組む。 わからない問題があれば個別に支援する。
			[ものさし計算き]	<ul style="list-style-type: none"> ものさしの目盛りの付き方に着目し、2つの「ものさし計算き」を組み合わせ、12+4や12-4の答えが求められるしくみについて考える。 	<ul style="list-style-type: none"> [以外]の学習活動としてp.64～65の「ものさし計算き」に取り組む。

★まなびリンク 動画「長さのはかり方(右きき)(左きき)」

★まなびリンク 動画「直線のかき方(右きき)(左きき)」

			⑨百を単位としてみられる数の加法及び減法の計算のしかたを理解する。	・300 + 400, 700 - 200, 430 + 20, 360 - 40などの加法, 減法の計算のしかたを10や100をもとにして考える。	
1 (0)	8 0 1	まとめ	⑩学習内容の理解を確認し, 確実に身につける。	・単元のまとめをする。	・[以外]の学習活動として取り組む。 ・わからない問題があれば個別に支援する。

● たし算とひき算の図

7月上旬 (2時間⇒1時間+[以外])
p.82~85

時	頁	小単元・小見出し	目標	学習活動	[以外]の学習活動例や指導上の留意事項
2 (1)	8 2 3		①加法と減法のテープ図の見方やかき方を理解する。	・青いりんごが6個, 赤いりんごが8個, あわせて14個ある場面で, テープ図と式を関連づけて捉え, 加法と減法のテープ図の見方やかき方を知る。	
	8 4 5		②加法や減法の問題場面をテープ図に表すことができる。	・買い物の場面で, 加法や減法の問題場面をテープ図や式に表して解決する。	・[以外]の学習活動としてp.84~85の葉2, 葉3に取り組み, ノート等にまとめる。

7 たし算とひき算

7月上旬~中旬 (9時間⇒8時間+[以外])
p.86~99

◆単元の目標と評価規準

○百の位に繰り上がる2位数などの加法及びその逆の減法や, 百の位への繰り上がり・繰り下がりがない3位数の加法及び減法について理解し, 計算することができるとともに, 図や式などを用いて計算のしかたを考える力を身につける。また, 加法及び減法の計算のしかたを考えることに進んで関わり, その過程を振り返り, 生活や学習に活用しようとする態度を養う。【学習指導要領との関連 A(2)ア(ア)(イ)(ウ), A(2)イ(ア)】

・2位数+1・2位数=百何十何の加法及びその逆の減法や, 百の位への繰り上がりがない3位数+1・2位数, 百の位からの繰り下がりがない3位数-1・2位数の筆算のしかたを理解し, 加法及び減法の計算が確実にできる。また, ()の意味や用い方について理解している。<知・技>

・数量の関係に着目し, 計算のしかたを考えたり計算に関して成り立つ性質を見いだしたりしているとともに, その性質を活用して, 計算を工夫したり計算の確かめをしたりしている。<思・判・表>

・加法及び減法の計算に進んで関わり, 数学的に表現・処理したことを振り返り, 数理的な処理のよさに気づき生活や学習に活用しようとしている。<態度>

◆指導計画と指導上の留意事項

時	頁	小単元・小見出し	目標	学習活動	[以外]の学習活動例や指導上の留意事項
3	8 6 9 0	百の位に繰り上がるたし算	①2位数+2位数で百の位に繰り上がる加法の計算のしかたを理解し, 筆算ができる。	・「何こあるかな?」の活動をきっかけに, 43 + 29, 43 - 15のような既習の計算を振り返るとともに, 未習の問題に取り組むことに関心をもつ。 ・72 + 63のような, 2位数+2位数で百の位に繰り上がる加法の計算のしかたを考え, 筆算のしかたをまとめる。	
			②2位数+2位数で繰り上がりが2回ある加法の計算ができる。	・83 + 49のような, 繰り上がりが2回ある加法の計算のしかたを考える。	
			③繰り上がって答えの十の位が空位になる加法の計算ができる。また, 百の位への繰り上がりがない3位数+1・2位数の加法の計算ができる。	・68 + 37や95 + 6のような, 答えの十の位が0になる加法の計算のしかたを考える。 ・437 + 6や719 + 33のような, 百の位への繰り上がりがない3位数+1・2位数の加法の計算のしかたを考える。	
5	9 1 9 7	百の位から繰り下がるひき算	④百何十何-2位数で百の位から繰り下がる減法の計算のしかたを理解し, 筆算ができる。	・125 - 43のような, 百何十何-2位数で百の位から繰り下がる減法の計算のしかたを考え, 筆算のしかたをまとめる。	
			⑤百何十何-2位数で繰り下がりが2回ある減法の計算ができる。	・163 - 79のような, 百何十何-2位数で繰り下がりが2回ある減法の計算のしかたを考える。	
			⑥百の位から波及的に繰り下がる減法の計算ができる。	・104 - 37のような, 百の位から波及的に繰り下がる減法の計算のしかたを考える。	

		(3つの数のたし算)	⑦答えが1位数になる減法の計算や、百何-1位数=2位数の減法の計算ができる。また、百の位からの繰り下がりのない3位数-1・2位数の減法の計算ができる。 ⑧加法の結合法則を用いた計算や、()を用いた式について理解する。	・106-98のような、百何-2位数=1位数の減法の計算や、103-6のような、百何-1位数=2位数の減法の計算のしかたを考える。 ・282-6、271-34のような、百の位からの繰り下がりのない3位数-1・2位数の減法の計算のしかたを考える。 ・15+6+4の答えの求め方を考える場面をとおして、()の意味と使い方、加法の結合法則を知る。	
1 (0)	9 9	9 8 5	⑨学習内容の理解を確認し、確実に身につける。	・単元のまとめをする。	・[以外]の学習活動として取り組む。 ・わからない問題があれば個別に支援する。

■ 筆算をつくろう

7月中旬 (1時間)

p.100

時	頁	小単元・小見出し	目標	学習活動	[以外]の学習活動例や指導上の留意事項
1	1 0 0		①数字カードを使った活動をとおして、筆算のしくみの理解を深める。	・筆算のしくみをもとに、決められた枚数の数字カードを使って正しい筆算の作り方を考える。	

◎ ふくしゅう②

頁	学習活動
1 0 1	・「長さ」「100より大きい数」「たし算」「ひき算」の復習をする。

8 水のかさ

9月上旬～中旬 (7時間⇒6時間+[以外])

p.102～112

◆単元の目標と評価規準

○かさの単位「L, dL, mL」について知り、測定の意味を理解し、単位を適切に選択してかさを測定する力を身につける。また、かさを比べたり測定したりすることに進んで関わり、生活や学習に活用しようとする態度を養う。【学習指導要領との関連 C(1)ア(ア)(イ), C(1)イ(ア)】

- ・かさの単位「L, dL, mL」について知り、測定の意味と単位の関係を理解し、かさについておよその見当をつけ単位を適切に選択して測定することができる。<知・技>
- ・身のまわりのものの特徴に着目し、目的に応じた単位でかさを的確に表現したり、比べたりしている。<思・判・表>
- ・かさを比べたり測定したりすることに進んで関わり、数学的に表現・処理したことを振り返り、数理的な処理のよさに気づき、生活や学習に活用しようとしている。<態度>

◆指導計画と指導上の留意事項

時	頁	小単元・小見出し	目標	学習活動	[以外]の学習活動例や指導上の留意事項
5	1 0 2 1 0 9	(リットル) (小さいかさのたらい)	①かさの意味、かさの比べ方を理解する。	・「水のかさは同じかな？」の活動をきっかけに、かさを表したり伝えたりすることに関心をもつ。 ・2つの水筒に入っている水のかさを比べることをとおして、かさの比較・測定のしかたや意味について考える。	
			②かさの単位「L」を理解する。	・やかんとポットに入る水のかさを調べることをとおして、かさの単位「リットル(L)」を知る。	
			③かさの単位「dL」と単位の関係を理解する。	・1Lに満たない水のかさを調べることをとおして、かさの単位「デシリットル(dL)」を知り、1L=10dLを知る。	
			④かさの単位「mL」と単位の関係を理解する。	・ジュースなどの入れ物に入る水のかさを調べることをとおして、かさの単位「ミリリットル(mL)」を知り、1L=1000mL, 1dL=100mLを知る。	

		(かさの計算)	⑤かさについて加法性が成り立つことを理解する。	・ポットとペットボトルの水のかさの合計や違いを求めることをとおして、水のかさは加減計算ができることを知る。	
1	1 1 0	学んだことをつかおう	⑥身のまわりのもののかさについて、およその見当をつけ、測定することができる。	・「水のかさの図かんを作ろう」という目的意識から、身のまわりのもののかさを1リットルますを使って測定し、まとめる。	
1 (0)	1 1 1 2 5	まとめ	⑦学習内容の理解を確認し、確実に身につける。 [くらしの中の水のかさ]	・単元のまとめをする。 ・日常生活の中でどれぐらいの水を使っているかを知る。	・[以外]の学習活動として取り組む。 ・わからない問題があれば個別に支援する。 ・[以外]の学習活動としてp.111の「くらしの中の水のかさ」に取り組む。

■ ロボットレース

9月中旬 (1時間⇒0時間+[以外])

p.113

時	頁	小単元・小見出し	目標	学習活動	[以外]の学習活動例や指導上の留意事項
1 (0)	1 1 3		①直線の作図の習熟を図る。	・じゃんけんをしながら、決められた長さの直線をかいてゴールを目ざすゲームに取り組む。	・[以外]の学習活動として休み時間などを利用して取り組む。

9 三角形と四角形

9月中旬～下旬 (9時間⇒8時間+[以外])

p.114～129

◆単元の目標と評価規準

○三角形や四角形、長方形、正方形、直角三角形について理解し、図形を構成する要素に着目して特徴を捉え、構成のしかたを考える力を身につける。また、図形の特徴を見いだすことに進んで関わり、身のまわりものの形を三角形、四角形、長方形、正方形、直角三角形として捉えるなど、生活や学習に活用しようとする態度を養う。【学習指導要領との関連 B(1)ア(ア)(イ)、A(1)イ(ア)】

- ・三角形や四角形、長方形、正方形、直角三角形について理解し、紙を折って構成したり、格子点を使って作図したりすることができる。<知・技>
- ・三角形や四角形の辺や頂点に着目し、構成のしかたを考えるとともに、身のまわりものの形を三角形や四角形、長方形、正方形、直角三角形として捉えている。<思・判・表>
- ・三角形や四角形に進んで関わり、数学的に表現・処理したことを振り返り、数理的な処理のよさに気づき、生活や学習に活用しようとしている。<態度>

◆指導計画と指導上の留意事項

時	頁	小単元・小見出し	目標	学習活動	[以外]の学習活動例や指導上の留意事項
7	1 1 4 5 1 2 5	(直角) (長方形と正方形)	①②三角形、四角形の意味や、平面図形の構成要素(辺、頂点)を理解する。	・「どうぶつをかこもう!」の活動をきっかけに、囲んでできた形に関心をもつ。 ・囲んでできた形の直線の数やかどの数に着目して、3本の直線で囲まれた形を三角形、4本の直線で囲まれた形を四角形ということを知る。 ・辺、頂点の意味や、三角形、四角形の辺、頂点の数について知る。	
			[算数メモ]*	・5本の直線で囲まれた形を五角形ということを知る。	
			[三角形や四角形を見つけよう]	・身のまわりから三角形や四角形のものを探す。	
			③直角の意味を理解する。	・紙を4つに折って、ノートのかどにぴったり重なる形を作ることとおして、直角について知る。	
			④長方形の意味、性質、辺の相等関係を理解する。 [算数のミカタ]	・紙の端を折って四角形を作ることとおして、長方形について知る。 ・図形の特徴を調べるとき、かどの形、辺の長さに着目したことを振り返る。	
			⑤正方形の意味、性質、辺の相等関係を理解する。 [長方形や正方形を見つけよう]	・長方形の紙を折って、短辺の長さにそろえて切った図形を調べることとおして、正方形について知る。 ・身のまわりから長方形や正方形のものを探す。	

		(直角三角形)	⑥直角三角形の意味、性質を理解する。	・長方形や正方形の紙を半分に切った図形を調べることとおして、直角三角形について知る。	
			⑦方眼を使って、長方形、正方形、直角三角形を作図することができる。	・方眼を使って長方形、正方形、直角三角形を作図する。	
1	1 2 6 7	学んだことをつかおう	⑧敷き詰め模様 の構成、観察をとおして、平面図形の広がりや図形の美しさを捉え、図形についての感覚を豊かにする。	・「きれいな模様を作ろう！」という目的意識から、折り紙で作った長方形、正方形、直角三角形を敷き詰めた模様を作る。	
1	1 2 8 9	まとめ	⑨学習内容の理解を確認し、確実に身につける。	・単元のまとめをする。	・[以外]の学習活動として取り組む。 ・わからない問題があれば個別に支援する。

■ タングラム

9月下旬 (1時間)
p.130

時	頁	小単元・小見出し	目標	学習活動	[以外]の学習活動例や指導上の留意事項
1	1 3 0		①図形についての感覚を豊かにする。★	・タングラムを用いた形作りをする。	

★まなびリンク 資料「タングラム 問題プリントダウンロードページ(株式会社パティンハウス)」

<下巻>

10 かけ算

10月上旬～下旬 (20時間⇒19時間+[以外])

p2～22

◆単元の目標と評価規準

○乗法の意味や式について理解し、計算することができるとともに、図や式などを用いて計算のしかたを考える力を身につける。また、乗法について考えることに進んで関わり、乗法を用いるよさに気づき生活や学習に活用しようとする態度を養う。【学習指導要領との関連 A(1)ア(エ), A(3)ア(ア)(イ)(ウ)(エ), A(3)イ(ア)(イ)】

- ・乗法の意味や式について理解し、1位数と1位数との乗法の計算が確実にできる。(5, 2, 3, 4の段) <知・技>
- ・数量の関係に着目し、計算の意味や計算のしかたを考えたり、計算に関して成り立つ性質を見いだしたりしているとともに、その性質を活用して、計算を工夫したり計算の確かめをしたりしている。<思・判・表>
- ・乗法の計算に進んで関わり、数学的に表現・処理したことを振り返り、数理的な処理のよさに気づき生活や学習に活用しようとしている。<態度>

◆指導計画と指導上の留意事項

時	頁	小単元・小見出し	目標	学習活動	[以外]の学習活動例や指導上の留意事項
1 9	2 1 9	(5の段と2の段の九九)	①②乗法の意味、乗法の式について理解する。★	<ul style="list-style-type: none"> ・「何人のっているかな？」の活動をきっかけに、乗り物に乗っている人数を調べる活動をとおして、同じ数のまとまりに着目して数えることに興味をもつ。 ・同じ数のまとまりに着目して、数をおはじきで表す。 ・3人ずつ4台分で12人になる場面を表すこととおして、乗法の意味と式、「かけ算」の意味を知る。 	
			③乗法の式について理解を深める。	<ul style="list-style-type: none"> ・場面絵に合うように乗法の式に表す。 ・乗法の式に合うようにはじきを並べる。 	
			④乗法の答えの求め方を理解する。	<ul style="list-style-type: none"> ・ボールが3個入った入れ物が5本あるときのボールの数を求めることとおして、3×5の乗法の答えは累加の式$3+3+3+3+3$で求められることを知る。 	
			⑤乗法の式を、具体的な場面と関連づけて用いることができる。	<ul style="list-style-type: none"> ・被乗数と乗数が入れ替わる問題場面をそれぞれ乗法の式に表すこととおして、それらの違いについて考える。 	
			⑥身のまわりのものを乗法の式で表すことができる。	<ul style="list-style-type: none"> ・身のまわりから乗法の式で表せるものを見つけ、式や答えを書く。 	
			⑦5の段の九九を構成することができる。	<ul style="list-style-type: none"> ・1箱5個入りのドーナツが何箱かあるときのドーナツの数の求め方を考える。 ・図をもとに5×1から5×9の答えを求め、5の段の九九を構成する。 ・$5 \times 1 = 5$を「五一が5」と唱え、このような唱え方を九九ということを知る。 	
			⑧⑨5の段の九九に習熟する。	<ul style="list-style-type: none"> ・5の段の九九の唱え方を知り、練習する。 ・5の段の九九を、カードを使って練習する。(p.22の[九九のれんしゅう]も扱う。) 	<ul style="list-style-type: none"> ・第8・9時を1時間で指導することが考えられる。授業後に、[以外]の学習活動として九九の習熟に取り組む。可能であれば、「まなびリンク」のデジタルコンテンツを利用して取り組む。
			⑩2の段の九九を構成することができる。	<ul style="list-style-type: none"> ・1パック2個入りのおにぎりが5パックあるときの個数を求めることとおして、2の段の九九を構成する。 	
⑪⑫2の段の九九に習熟する。	<ul style="list-style-type: none"> ・2の段の九九の唱え方を知り、練習する。 ・2の段の九九を、カードを使って練習する。(p.22の[九九のれんしゅう]も扱う。) 	<ul style="list-style-type: none"> ・第11・12時を1時間で指導することが考えられる。授業後に、[以外]の学習活動として九九の習熟に取り組む。可能であれば、「まなびリンク」のデジタルコンテンツを利用して取り組む。 			

	(3の段と4の段の九九)	⑬3の段の九九を構成することができる。	・1パック3個入りのヨーグルトが4パックあるときの個数を求めることをとおして、3の段の九九を構成する。 ・かけられる数、かける数の意味を知る。	
		⑭⑮3の段の九九に習熟する。	・3の段の九九の唱え方を知り、練習する。 ・3の段の九九を、カードを使って練習する。(p.22の「九九のれんしゅう」も扱う。)	・第14・15時を1時間で指導することが考えられる。授業後に、[以外]の学習活動として九九の習熟に取り組む。可能であれば、「まなびリンク」のデジタルコンテンツを利用して取り組む。
		⑯4の段の九九を構成することができる。	・1箱4個入りのチョコレートが5箱あるときの個数を求めることをとおして、4の段の九九を構成する。 ・乗数が1増えると積はいくつ増えるかを調べる。	
		⑰⑱4の段の九九に習熟する。	・4の段の九九の唱え方を知り、練習する。 ・4の段の九九を、カードを使って練習する。(p.22の「九九のれんしゅう」も扱う。)	・第17・18時を1時間で指導することが考えられる。授業後に、[以外]の学習活動として九九の習熟に取り組む。可能であれば、「まなびリンク」のデジタルコンテンツを利用して取り組む。
		(かけ算のめんどいづくり)	⑲乗法の式に合う問題を作ることができる。	・場面絵から乗法の式で表せるものを見つけて問題を作る。
1 (0)	2 0 5 2 1	⑳学習内容の理解を確認し、確実に身につける。	・単元のまとめをする。	・[以外]の学習活動として取り組む。 ・わからない問題があれば個別に支援する。
	2 2	[九九のれんしゅう]★	・九九の練習をする。	・授業、及び[以外]の学習活動として、p.22の「九九のれんしゅう」を適宜扱う。

★まなびリンク シミュレーション「かけ算の導入イラスト」

★まなびリンク シミュレーション「九九のカード(フラッシュカード)」

■ 九九であそぼう

11月上旬 (2時間)

p.23~24

時	頁	小単元・小見出し	目標	学習活動	[以外]の学習活動例や指導上の留意事項
2	2 2 4		①②九九に習熟する。	・九九カードを用いたゲーム「カルタあそび」「大きいほうが勝ち」「九九ビンゴゲーム」をとおして計算練習をする。	・3種類のゲームから選択して扱い、1時間で指導することが考えられる。

11 かけ算九九づくり

11月中旬～12月上旬 (18時間⇒17時間+[以外])

p.25~44

◆単元の目標と評価規準

○乗法の意味や式について理解し、計算することができるとともに、図や式などを用いて計算のしかたを考える力を身につける。また、乗法について考えることに進んで関わり、乗法を用いるよさに気づき生活や学習に活用しようとする態度を養う。【学習指導要領との関連 A(1)ア(エ)、A(3)ア(ア)(イ)(ウ)(エ)、A(3)イ(ア)(イ)】

- ・乗法の意味や式について理解し、1位数と1位数との乗法の計算が確実にできる。(6, 7, 8, 9, 1の段) <知・技>
- ・数量の関係に着目し、計算の意味や計算のしかたを考えたり、計算に関して成り立つ性質を見いだしたりしているとともに、その性質を活用して、計算を工夫したり計算の確かめをしたりしている。<思・判・表>
- ・乗法の計算に進んで関わり、数学的に表現・処理したことを振り返り、数理的な処理のよさに気づき生活や学習に活用しようとしている。<態度>

◆指導計画と指導上の留意事項

時	頁	小単元・小見出し	目標	学習活動	[以外]の学習活動例や指導上の留意事項
			①九九表と九九づくりの図のしくみを理解し、用いることができる。★	・「もっと九九をやってみよう！」の活動をきっかけに、2の段から5の段までの九九を振り返り、それらの答えを九九表に書く。 ・九九づくりの図を用いて、6×2の答えの求め方を説明する。	

1 7	2 5 5 4 3	(6のだんと7のだんの九九)	②6の段の九九を構成することができる。	・6の段の九九を、乗数と積の増え方に着目して構成する。 ・6の段の九九を表にまとめる。	
		③④6の段の九九に習熟する。	・6の段の九九の唱え方を知り、練習する。 ・6の段の九九を、カードを使って練習する。	・第3・4時を1時間で指導することが考えられる。授業後に、[以外]の学習活動として九九の習熟に取り組む。可能であれば、「まなびリンク」のデジタルコンテンツを利用して取り組む。	
		⑤7の段の九九を構成することができる。	・7の段の九九を、乗数と積の増え方に着目して構成する。 ・7の段の九九を表にまとめる。		
		⑥⑦7の段の九九に習熟する。	・7の段の九九の唱え方を知り、練習する。 ・7の段の九九を、カードを使って練習する。	・第6・7時を1時間で指導することが考えられる。授業後に、[以外]の学習活動として九九の習熟に取り組む。可能であれば、「まなびリンク」のデジタルコンテンツを利用して取り組む。	
		(8のだんと9のだんの九九)	⑧8の段の九九を構成することができる。	・8の段の九九を工夫して構成する。 ・8の段の九九を表にまとめる。	
		⑨⑩8の段の九九に習熟する。	・8の段の九九の唱え方を知り、練習する。 ・8の段の九九を、カードを使って練習する。	・第9・10時を1時間で指導することが考えられる。授業後に、[以外]の学習活動として九九の習熟に取り組む。可能であれば、「まなびリンク」のデジタルコンテンツを利用して取り組む。	
		⑪9の段の九九を構成することができる。	・9の段の九九を工夫して構成する。 ・9の段の九九を表にまとめる。		
		⑫⑬9の段の九九に習熟する。	・9の段の九九の唱え方を知り、練習する。 ・9の段の九九を、カードを使って練習する。	・第12・13時を1時間で指導することが考えられる。授業後に、[以外]の学習活動として九九の習熟に取り組む。可能であれば、「まなびリンク」のデジタルコンテンツを利用して取り組む。	
		(1のだんの九九)	⑭1の段の九九を構成することができる。	・1の段の九九を構成する。 ・1の段の九九を表にまとめる。 ・1の段の九九の唱え方を知り、練習する。	
		(かけ算と倍)	⑮倍の意味を理解する。	・2倍や3倍などの意味を知り、何倍かした長さを求めるには乗法を用いることを知る。 ・もとの長さを自分で決めて、その5倍の長さのテープを作る。	
		(かけ算をつかって)	⑯乗法を用いる文章題を解決することができる。	・乗法を用いる文章題に取り組む。	
			⑰九九を活用して問題を解決し、乗法について理解を深める。 [友だちのノートを見てみよう]	・牛乳の本数の合計を求める場面で、九九が適用できるように分割したり移動したりして、工夫して求めるしかたを考え説明する。 ・教科書のノート例や友だちのノートを見て、ノートの書き方の工夫について話し合う。	
		1 (0) ()	4 4 4	まとめ ⑱学習内容の理解を確認し、確実に身につける。	・単元のまとめをする。

★まなびリンク シミュレーション「九九の表ツール」

★まなびリンク シミュレーション「九九づくりの図ツール」

■ 九九ジグソーパズル

12月上旬 (1時間)

p.45

時	頁	小単元・小見出し	目標	学習活動	[以外]の学習活動例や指導上の留意事項
1	4 5		①九九に習熟し、乗法の性質について理解を深める。	・九九表を分解して作ったジグソーパズルに取り組む。	

12 長いものの長さ

◆単元の目標と評価規準

○長さの単位「m」について知り、単位を適切に選択して長さを測定する力を身につける。また、長さを比べたり測定したりすることに関わり、生活や学習に活用しようとする態度を養う。【学習指導要領との関連 C(1)ア(ア)(イ), C(1)イ(ア)】

- ・長さの単位「m」について知り、単位との関係を理解し、長さについておよその見当をつけ単位を適切に選択して測定することができる。<知・技>
- ・身のまわりのものの特徴に着目し、目的に応じた単位で長さを的確に表現したり、比べたりしている。<思・判・表>
- ・長さを比べたり測定したりすることに関わり、数学的に表現・処理したことを振り返り、数理的な処理のよさに気づき、生活や学習に活用しようとしている。<態度>

◆指導計画と指導上の留意事項

時	頁	小単元・小見出し	目標	学習活動	[以外]の学習活動例や指導上の留意事項
3	4 6 5 0		①長さの単位「m」と単位との関係を理解する。	・「長さをよそしよう！」の活動をきっかけに、長さについての既習事項を振り返りながら、手を広げた長さや黒板の横の長さ、床から天井までの高さを予想する。 ・両手を広げた長さを測る活動をおとして、長さの単位「メートル(m)」を知り、1m=100cmを知る。	
			②長さを複名数や単名数で表すことができる。	・1mのものさし4つ分とあと半分の長さを、4m50cmと複名数表記をする。また、それをcm単位で表す。	
			③m単位の長さについても加法性が成り立つことを理解する。	・天井の高さを2m20cm+70cm=2m90cmと求めることをおとして、長さがmで表されている場合も加減計算ができることを知る。	
1	5 1	学んだことをつかおう	④身のまわりのものの長さについて、およその見当をつけ、測定することができる。	・「(もっと長い)長さの図かんを作ろう」という目的意識から、紙テープに目盛りをつけて1mより長いものさしを作り、身のまわりのものの長さを測定し、まとめる。	
1 (0)	5 2	まとめ	⑤学習内容の理解を確認し、確実に身につける。	・単元のまとめをする。	・[以外]の学習活動として取り組む。 ・わからない問題があれば個別に支援する。

◎ ふくしゅう③

頁	学習活動
5 3	・「たし算とひき算」「水のかさ」「三角形と四角形」「かけ算」「かけ算九九づくり」の復習をする。

■ 算数カレンダーを作ろう

時	頁	小単元・小見出し	目標	学習活動	[以外]の学習活動例や指導上の留意事項
1 (0)	5 5 4 5		①1つの数をほかの数の和や差、積としてみるなど、数についての感覚を豊かにする。	・式や図、絵などを用いて、数の表し方を工夫してカレンダーを作る。	・[以外]の学習活動(冬休みの自由研究等)として取り組む。

13 九九の表

◆単元の目標と評価規準

○乗法に関して成り立つ簡単な性質について理解し、それらの性質を見いだしたり、簡単な場合について2位数と1位数との乗法の計算のしかたを考える場合などに活用したりする力を身につける。また、乗法に関して成り立つ性質について考えることに進んで関わり、それらを用いるよさに気づき生活や学習に活用しようとする態度を養う。【学習指導要領との関連 A(1)ア(エ), A(3)ア(ウ)(オ), A(3)イ(ア)】

- ・乗法に関して成り立つ簡単な性質について理解している。また、簡単な場合について、2位数と1位数との乗法の計算のしかたを知っている。<知・技>
- ・数量の関係に着目し、計算に関して成り立つ性質を見いだすとともに、その性質を活用して、計算を工夫したり計算の確かめをしたりしている。<思・判・表>
- ・乗法に関して成り立つ性質を見いだすことに進んで関わり、数学的に表現・処理したことを振り返り、数理的な処理のよさに気づき生活や学習に活用しようとしている。<態度>

◆指導計画と指導上の留意事項

時	頁	小単元・小見出し	目標	学習活動	〔以外〕の学習活動例や指導上の留意事項
5	5 6 5 6 3		①九九の答えの一の位の数字の規則性に気づき、九九のきまりについて関心を高める。	・「九九のもようをつくろう！」の活動をきっかけに、円上に書かれた数字を九九の答えの一の位の数字の順に直線で結ぶと規則的な模様ができることに気づき、九九のきまりに関心をもち。	・〔以外〕の学習活動としてp.56の「九九のもようをつくろう！」に取り組み、気づいたことをノート等にまとめることが考えられる。
			②九九表を見て、さまざまなきまりを見つけることができる。 九九表を見て、乗数と積の関係を理解する。★	・九九表を見て、九九のきまりについて学習したことや気づいたことを発表する。 ・どの段の九九も、乗数が1増えると積が被乗数の分だけ増えることを知る。	
			③九九表を見て、乗法の交換法則を理解する。	・九九表の中に同じ答えがあることに気づき、乗法の交換法則を知る。	
			④九九表を見て、乗法の分配法則を理解する。	・3の段の答えは「1の段+2の段」のようになっていることについて、式や図を用いて説明する。	
			⑤乗法に関して成り立つ性質をもとに、2位数と1位数との乗法の計算のしかたを考えることができる。	・ 4×10 , 4×11 , 4×12 , 10×4 , 11×4 , 12×4 の答えの求め方を考え、九九表を12まで広げる。	
1 (0)	6 4	まとめ	⑥学習内容の理解を確認し、確実に身につける。	・単元のまとめをする。	・〔以外〕の学習活動として取り組む。 ・わからない問題があれば個別に支援する。

★まなびリンク シミュレーション「九九の表ツール」

14 はこの形

◆単元の目標と評価規準

○長方形や正方形の面で構成される箱の形について理解し、図形を構成する要素に着目して特徴を捉え、構成のしかたを考える力を身につける。また、箱の形の特徴を見いだすことに進んで関わり、生活や学習に活用しようとする態度を養う。【学習指導要領との関連 B(1)ア(ウ), B(1)イ(ア)】

- ・長方形や正方形の面で構成される箱の形について理解し、それらを構成したり分解したりすることができる。<知・技>
- ・図形を構成する要素に着目し、構成のしかたを考えているとともに、身のまわりのものの形を図形として捉えている。<思・判・表>
- ・箱の形に進んで関わり、数学的に表現・処理したことを振り返り、数理的な処理のよさに気づき、生活や学習に活用しようとしている。<態度>

◆指導計画と指導上の留意事項

時	頁	小単元・小見出し	目標	学習活動	〔以外〕の学習活動例や指導上の留意事項
2	6 5 5 6 7		①箱の形をしたものの構成要素(面)について理解する。	・「はこにきれいな紙をはろう！」の活動をきっかけに、箱の形を観察したり紙に写し取ったりする。 ・面の意味を知り、箱の形の面の形や数を調べる。	
			②箱の形をしたものの構成要素(辺, 頂点)について理解する。	・ひごと粘土玉で作った箱の形を観察して、箱の形の辺, 頂点の意味を知り、それらの数を調べる。	

2	6 8 9	学んだことをつかおう	③④箱の形をしたものを構成したり分解したりすることができる。	・「お気に入りのほこを作ろう!」という目的意識から、箱の構成のしかたを考える。	
1 (0)	7 0	まとめ	⑤学習内容の理解を確認し、確実に身につける。	・単元のまとめをする。	・[以外]の学習活動として取り組む。 ・わからない問題があれば個別に支援する。

15 1000より大きい数

2月上旬～下旬 (7時間⇒6時間+[以外])
p.71～80

◆単元の目標と評価規準

○4位数までについて、十進位取り記数法による数の表し方を理解し、大きな数の大きさの比べ方や数え方を考える力、及び百を単位としてみて、何百の加法の計算のしかたを考える力を身につける。また、数を表すことに進んで関わり、数のまとまりに着目して数えたり表したりすることのよさに気づき生活や学習に活用しようとする態度を養う。【学習指導要領との関連 A(1)ア(ア)(イ)(ウ)(オ), A(1)イ(ア), A(2)ア(イ)】

- ・4位数までについて、十進位取り記数法による数の表し方、数の大小や順序、及び数の相対的な大きさについて理解するとともに、簡単な事柄を分類整理し、それを数を用いて表すことができる。また、何百の加法の計算ができる。<知・技>
- ・数のまとまりに着目し、大きな数の大きさの比べ方や数え方を考え、日常生活に生かしている。また、百を単位としてみて、何百の加法の計算のしかたを考えている。<思・判・表>
- ・数を表すことに進んで関わり、数学的に表現・処理したことを振り返り、数理的な処理のよさに気づき生活や学習に活用しようとしている。<態度>

◆指導計画と指導上の留意事項

時	頁	小単元・小見出し	目標	学習活動	[以外]の学習活動例や指導上の留意事項
4	7 1 5 7 6	数のあらかわし方 (100がいくつ) (一万)	①1000未満の数のよみ方、表し方、4位数の構成と位取りのしくみ(千の位)を理解する。	・「何まいあるかな?」の活動をきっかけに、紙の束を数えることをとおして、100のまとまりから1000のまとまりを作るとよいことに気づく。 ・4位数の十進位取り記数法によるよみ方、表し方を知る。 ・千の位について知る。	
			②空位のある4位数のよみ方、表し方を理解する。	・3025のような、空位のある4位数のよみ方、表し方を知る。	
			③数の相対的な大きさについて理解する。	・100を23個集めた数や、3400は100を何個集めた数かを考える。	
			④10000のよみ方、書き方 10000以下の数の順序について理解する。	・花を数えることをとおして、1000を10個集めた数を一万といい、10000と書くことや、9999より1大きい数であることを知る。 ・10000までの数を数直線の上に表示し、並び方などを調べる。	
1	7 7	何百の計算	⑤百を単位としてみられる数の加法の計算のしかたを理解する。 [1200-500の計算]*	・700+500のような加法の計算のしかたを100をもとにして考える。 ・1200-500のような計算のしかたを100をもとにして考える。	・p.76の葉6、及びp.77「いろいろな数を見つけよう!」の第5・6時を1時間で指導することが考えられる。 ・葉6の授業をもとに、[以外]の「はってん」扱いの学習活動として、「1200-500の計算」に選択的に取り組み、ノート等にまとめる。 ・「いろいろな数を見つけよう!」の授業をもとに、[以外]の学習活動として、自分でいろいろな数を見つける活動に取り組む。
1	7 8	学んだことをつかおう	⑥数の役割について考え、物事を分類整理した結果を表すのに数を用いる場合があることを理解する。	・「いろいろな数を見つけよう!」という目的意識から、身のまわりの数に着目し、その数の役割について考える。	
1 (0)	8 9 5	まとめ	⑦学習内容の理解を確認し、確実に身につける。	・単元のまとめをする。	・[以外]の学習活動として取り組む。 ・わからない問題があれば個別に支援する。
			[10000つぶってどれくらい?]	・ごはん10000粒はお茶碗でおよそ3杯分になることを知り、10000の量感をつかむ。	・[以外]の学習活動としてp.79の「10000つぶってどれくらい?」を読む。

■ 数のめいろ

2月中旬 (1時間)

p.81

時	頁	小単元・小見出し	目標	学習活動	[以外]の学習活動例や指導上の留意事項
1	8 1		①決められた和になる数の選び方を、筋道を立てて考えることができる。	・いくつかの数を選んで、和が決められた数値になるように迷路を進む。	

◎ ふくしゅう④

頁	学習活動
8 2	・「長いものの長さ」「九九の表」「はこの形」の復習をする。 ・単元16「図をつかって考えよう」に関わる既習事項を確認する。

16 図をつかって考えよう

2月中旬～下旬 (5時間⇒4時間+[以外])

p.83～89

◆単元の目標と評価規準

○加法と減法との相互関係について理解するとともに、逆思考の問題場面について、図に表したり、図と式を関連づけたりして解決のしかたを考える力を身につける。また、問題場면을図に表すことに進んで関わり、そのよさに気づき生活や学習に活用しようとする態度を養う。

【学習指導要領との関連 A(2)ア(エ)】

- ・加法と減法との相互関係について理解するとともに、問題場면을図や式に表すことができる。<知・技>
- ・逆思考の問題場面について、図に表したり、図と式を関連づけたりして解決のしかたを考えている。<思・判・表>
- ・問題場면을図に表すことに進んで関わり、数学的に表現・処理したことを振り返り、数理的な処理のよさに気づき生活や学習に活用しようとしている。<態度>

◆指導計画と指導上の留意事項

時	頁	小単元・小見出し	目標	学習活動	[以外]の学習活動例や指導上の留意事項
4	8 3 5 8 8		①加法と減法の相互関係について理解する。	・「どんなもんだいができるかな？」の活動をきっかけに、おはじきをつかみどりした結果(青15個、赤17個、合計32個)の場面をもとに、問題作りをする。	
			②加法逆減法の場면을図や式に表して、答えを求めることができる。	・12人乗っているバスに何人か乗車したら28人になったときの乗車した人数を求める場面で、テープ図を手がかりに減法の式に表して求めるしかたを考える。(加法逆減法 $a + \square = b$ の場合)	
			③減法逆加法の場면을図や式に表して、答えを求めることができる。	・チョコレートを食べたあとで13個残っているときの初めにあったチョコレートの数を求める場面で、テープ図を手がかりに加法の式に表して求めるしかたを考える。(減法逆加法 $\square - a = b$ の場合)	
			④減法逆減法の場면을図や式に表して、答えを求めることができる。	・26cmのテープを何cmか使ったら17cm残ったときの使ったテープの長さを求める場面で、テープ図を手がかりに減法の式に表して求めるしかたを考える。(減法逆減法 $a - \square = b$ の場合)	
1 (0)	8 9	まとめ	⑤学習内容の理解を確認し、確実に身につける。	・単元のまとめをする。	・[以外]の学習活動として取り組む。 ・わからない問題があれば個別に支援する。

2月下旬～3月上旬（6時間⇒5時間+[以外]）

p.90～97

17 1を分けて

◆単元の目標と評価規準

○1/2, 1/3など簡単な分数について知り、具体物を操作してそれらの大きさを作ることができるとともに、もとの大きさに着目して分数の大きさを捉えたり表現したりする力を身につける。また、分数に進んで関わり、そのよさに気づき生活や学習に活用しようとする態度を養う。

【学習指導要領との関連 A(1)ア(カ)】

- ・1/2, 1/3など簡単な分数について知っている。<知・技>
- ・もとの大きさに着目して、分数の大きさを捉えたり表現したりしている。<思・判・表>
- ・分数に進んで関わり、数学的に表現・処理したことを振り返り、数理的な処理のよさに気づき生活や学習に活用しようとしている。<態度>

◆指導計画と指導上の留意事項

時	頁	小単元・小見出し	目標	学習活動	[以外]の学習活動例や指導上の留意事項
5	9 0 5 9 6		①1/2の大きさや意味を理解する。	・「半分に分けよう！」の活動をきっかけに、「半分」の意味について話し合ったり、具体的に説明したりする。 ・折り紙を多様な切り方で半分にする活動をとおして、1/2の意味を知る。	
			②等分の意味や、等分と倍の関係を知り、1/2の大きさについて理解を深める。	・テープの長さを1/2にする活動をとおして、等分の意味や、等分と倍の関係を知る。	
			③1/4, 1/8の大きさや分数の意味を理解する。	・テープを半分に折って、それをさらに半分に折る活動をとおして、1/4の大きさを知る。また、1/8の大きさや分数の意味を知る。	
			④もとの大きさが違うと1/2の大きさも違うことに気づき、分数の意味について理解を深める。	・もとの長さが10cmのテープの1/2の長さや、1/2にした長さが4cmのテープのもとの長さを考え、もとの長さが違うと1/2の長さも違うことを説明する。	
			⑤1/2, 1/3, 1/4の大きさを作る活動をとおして、乗法、除法についての素地となる見方を養う。	・12個つながったチョコレート等を等分すると何人に分けられるかを考え、図と数、言葉で説明する。 ・12個のチョコレートを何等分かすると1人分は何個になるかを考え、図と数、言葉で説明する。	
1 (0)	9 7	まとめ	⑥学習内容の理解を確認し、確実に身につける。	・単元のまとめをする。	・[以外]の学習活動として取り組む。 ・わからない問題があれば個別に支援する。

● 算数をつかって考えよう

3月中旬（1時間）

p.98～99

時	頁	小単元・小見出し	目標	学習活動	[以外]の学習活動例や指導上の留意事項
1	9 8 5 9 9	(お手つだい)	①知識・技能等を活用し、課題解決のための構想を立て、筋道を立てて考えたり、数学的に表現したりすることができる。 グラフの○の数の合計に着目することができる。*	・グラフから、お手伝いの回数が多かった日や少なかった日をよみ取る。また、金曜日の回数をよみ取り、その4倍の回数を求める。 ・グラフの○の数の合計を求める場面で、九九が適用できるように分割したり移動したりして、工夫して求めるしかたを考え説明する。	

■ お楽しみ会で算数

3月中旬（1時間）

p.100～101

時	頁	小単元・小見出し	目標	学習活動	[以外]の学習活動例や指導上の留意事項
1	1 0 0 1 5		①2学年の学習内容を理解し、問題を解くことができる。	・お楽しみ会の場面絵をもとに、2学年で学習した内容についての問題を解決したり、問題を作ったりする。	

3月中旬（4時間⇒0時間+[以外]）

p.102～105

◎ 2年のまとめ

時	頁	小単元・小見出し	目標	学習活動	[以外]の学習活動例や指導上の留意事項
4 (0)	1 0 2 5		①②③④第2学年の学習内容の問題を解決することができる。	・数と計算，図形，測定，データの活用についての問題に取り組む。	・[以外]の学習活動として取り組む。 ・わからない問題があれば個別に支援する。